

新型コロナウイルス感染症患者数の増加に対する 知事コメント

令和2年3月21日

昨日(20日)、大分市内の医療機関「国立病院機構 大分医療センター」に関連した方で、医師2人を含む5人の新型コロナウイルス感染者が新たに確認されました。

19日に確認された2人とあわせ、同一病院に関連して、2日間で7人もの患者が発生する、大変憂慮される事態であり、院内で「クラスター感染」が発生したものと言わざるを得ません。

感染された皆様の早期の回復を願うとともに、この新たな局面に際し、感染拡大防止に向けた対策を全力で講じていきたいと考えています。

1. 大分医療センターの外来については、当分の間休止します。

ただし、これまで入院や外来で大分医療センターを利用された方で、症状などがあり、心配な方は、最寄りの保健所に相談してください。

2. 大分医療センター関連の方の PCR 検査を徹底します。

医師については全員 PCR 検査が終了し、昨日発表した2名を除き、すべて陰性と判明しました。

看護師を含む職員及び入院患者についても、感染リスクの高い方から順に、全員に対し PCR 検査を実施します。

3. 大分リハビリテーション病院については、大分医療センターから転院して感染が確認された方がいたこともあり、外来を休止して、PCR検査を実施するなど、安全の確認を急ぎます。

4. なお、すでに、国のクラスター対策班の派遣要請を行っており、その到着を待って、本日午後から、大分医療センターでの感染経路の早期解明を図ることとしており、その調査結果を踏まえて必要な対策を講じます。

5. 今回、感染者が急増したことから、今後のさらなる患者の増大に対応できるよう、医療・検査体制を強化します。

PCR検査体制については、県と大分市あわせて1日最大120件まで実施できる体制を構築しました。

また、現在40床確保している受け入れ病床を、県内医療機関の協力を得て、約100床にまで拡大しました。

6. 重ねて、県民の皆さまにお願いです。

(1) 発熱や風邪症状のある場合には、まずは、かかりつけ医に電話して症状を伝えてから受診してください。受診した後、風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合や、強い倦怠感や息苦しさがある場合は、最寄りの保健所に相談してください。

医療機関におかれても、新型コロナウイルスの感染の可能性について、さらに注意をし、疑われる場合には、PCR検査の実施について、保健所に躊躇なくご相談いただきたいと思います。また、感染防止対策を徹底していただくよう重ねてお願いします。

(2) また、健康な方についても、効果的な予防策である入念な手洗いや咳エチケット等の徹底をお願いします。

加えて、①換気の悪い密閉空間で、②人が密集し、③近距離での会話が行われるという、3つの条件が重なる場所を避けるよう、改めて注意を喚起します。

(3) また、発熱や風邪症状などがある方は、無理をせずに仕事や学校を休み、外出を控えていただきたいと思います。

特に高齢者や基礎疾患を持たれている方は、不要不急の外出をしないよう、強くお願いします。

県民の皆さまには大変なご不便をおかけしますが、ここが感染拡大防止の正念場です。県としてしっかり取り組んで参りますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。